

2018HKFAレフェリーキャラバン道北報告書

研修会名:平成30年度(公財)北海道サッカー協会2018HKFAレフェリーキャラバン道北

日時:2019年 2月3日(日)

会場:旭川市 神楽公民館2F 講座室

講師:山崎裕彦(RDO:北海道審判デベロプメント・オフィサー、JFAサッカーS級審判インストラクター)
氏家克仁(HKFAサッカー2級審判インストラクター)

参加者:サッカー2級インストラクター7名、サッカー3級インストラクター4名、サッカー3級審判員6名

平成30年度(公財)北海道サッカー協会2018HKFAレフェリーキャラバン道北が旭川市神楽公民館にて、宗谷、道北、旭川地区から17名の参加者で開催されました。講義①では、2名の2級インストラクターが、主審と副審の任務、対角線式審判法について、サッカー3級審判員を対象に講義を担当していただきました。主審と副審の任務では日本サッカー協会HPの「ビデオアシスタントレフェリー(VAR)について」の映像を用いて解説し、対角線式審判法では、フィールドシートを使用し実際の動きを審判員に示してもらい対角線式審判法の利点などを詳細に解説していただきました。講義②では、山崎RDOによる競技規則改正について、クイズ形式で改正について確認を行いました。講義③は山崎RDOによる、JFAが掲げている将来構想についての説明、その後は、新アセスメントレポートについての大変分かりやすい説明を頂きました。講義④⑤は実際の試合映像を見てレフェリング分析を行いました。3グループに分かれてレフェリングを分析し、良い点、改善点を付箋に書き出しそれを模造紙にまとめ、発表、すり合わせ等を行いました。講義⑥は試合分析力として、考慮事項を用いて審判員のパフォーマンスを論理的に、また的確に分析することを目的とした講義を行いました。地元旭川地区よりオブザーバーとして砂川邦裕HKFAサッカー2級審判インストラクターほか3名の2級審判員の方々にもご参加いただきこの講習会を盛り上げていただきました。改めてこの道北キャラバンにご参集いただきました参加者の皆様、会場等の手配など、ご尽力いただいた旭川地区協会の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



【参加者コメント】

・三上 泰三 宗谷地区サッカー協会 (HKFA サッカー2級
審判インストラクター)

今回は、初のブロック分けをしての、「レフェリーキャラバン in
道北」旭川開催に参加させて頂きました。S4・S3審判員が
参加と聞いていたのですが、ほぼS3・S2・強化審判員の参
加でした。インストラクタープレゼンでは、基本「対角線審判
法」競技規則の改正 VAR の実施用件」では CP・パワーポ
イントや JFA2019 シーズン競技規則スタンダード映像などを
使用し大変わかりやすく丁寧に説明して頂きました、今後自
身がプレゼンをする際の参考になりました。山崎 RDOからは
JFA 将来構想と「新アセスメントレポート記入方法」の留意点
をわかりやすく説明して頂きました。今回、身近な地区開催と
なったキャラバンの為なのか、プレゼンのすりあわせの際や
いろいろな、画面での意見交換を含め和気あいあいな雰
囲気と多くの有意義な考えや思いが聴けました。シーズンに向け大変有意義な研修会になりました。

日 時	2 / 3 (日)
9 : 3 0	集合・開講式
1 0 : 0 0	講義 1 - 1 審判理論
1 0 : 2 5	講義 1 - 2 審判理論
1 0 : 5 0	講義 2 競技規則改正
1 1 : 3 5	休憩
1 1 : 4 5	講義 3 JFA将来構想
1 2 : 0 5	昼食
1 3 : 0 0	講義 4 評価のすり合わせ
1 4 : 1 0	休憩
1 4 : 2 5	講義 5 審判員の指導法
1 5 : 3 5	休憩
1 5 : 4 5	講義 6 Analysis
1 6 : 4 5	解散

・氏家克人 道北地区サッカー協会 (HKFA サッカー2級審判インストラクター)

「今回旭川にてレフェリーキャラバン道北に参加いたしました。普段お会いすることの少ない他の地区の3
級審判員および3級インストラクターの方や2級インストラクターの方の意見などを聞くことができ新しい発
見があり大変勉強になりました。櫻井さんの講義から始まり3級審判からも活発な意見が出て非常に盛り
上がった楽しい研修会でした。普段は限られた地区やカテゴリーの審判員との交流が多いなか、このよ
うな地区やカテゴリーを超えた研修会は今後もブロック体制のなかで開催できればと思いました。今回、遠
いところをお越しいただいた山崎 RDO ならびに準備をしてくださった指導部の皆様、旭川地区協会の皆
様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。」

・沓澤 整治 旭川地区サッカー協会 (HKFA サッカー2級審判インストラクター)

「レフェリーキャラバン道北」には、審判員、インストラクターの両方の立場から参加させて頂きましたが、
改めて感じたのは、様々な立場の人が、審判員として活動しているということでした。チームの指導者と
して活躍しながら審判活動を行っている方、多くの試合が開催される地域で1日に何試合も審判を行って
いる方、次第にサッカー人口が減っている地域でいかにサッカーの審判に興味を持ってもらうかというこ
とに力を注いでいる方等、そのような方達が、1つの場に集まってサッカーの審判という切り口からサッカー
についてディスカッションすることは、とても大きな意義があると感じました。私にとっては、他のインストラ
クターの方が進行する講義やディスカッションに受講者として参加することは、受講者の思考の流れや疑
問を持つポイントを感じ取ることができたという点でとても大きな学びとなりました。また、「レフェリング・ア
ナリシス」という、レフェリーとインストラクターが共通の言葉を使って、試合後のアセスメントを行うという新
たな分析方法は、今後のレフェリーの育成という視点から、とても有効な方法になり得るとその可能性を感じ
ました。今後も多くの審判員やインストラクターが「参加して良かった」と思える研修会が増えることを願
うとともに、自分自身もそのような研修会を実施できるよう工夫していきたいと思います。